令和5年度 第3回高知支部評議会 議事録

開催日時 令和6年1月15日(月) 10:00~12:00

開催場所 高知会館「やまもも」

出席者 被保険者代表 岡本評議員
事業主代表 古谷評議員、吉村評議員、廣末評議員
学識経験者 中川評議員(議長)、西森評議員、竹島評議員

- 議題1 令和6年度都道府県単位保険料率について
事務局より令和6年度都道府県単位保険料率について説明。

(学識経験者)

新年度の支部保険料率が下がる理由として、新型コロナによる受診控えの反動による令和4年度の医療費支出が想定より少なく済んだことが主な要因であることは理解した。今回の数字(9.89%)は一見うれしい数字ではあるが、受診者数が増加すると保険料率は元の水準に戻ってしまう。保険料率の上下変動に一喜一憂することなく、今後これを維持するために、適正受診の取り組みにより支出抑制に取り組む必要がある。

(事務局)

今回の保険料率については、精算部分のマイナス0.20%の収支差の影響が大きかった。今後も可能な限り保険料率を維持できるよう、引き続き医療費の適正化を進めていく。

(学識経験者)

インセンティブ制度の指標である「特定保健指導対象者の減少率」について、減少率トップの支部と高知支部との差は6.5%にすぎないが、順位や点数では大きな開きが出てくる仕組みになっている。では、高知支部が全国平均の減少率を達成するためには、具体的には何人減少させる必要があるのか。それが500人なのか10,000人なのかで、計画やアプローチが変わってくるのではないか。

(事務局)

具体的な人数の一つの目安であるが、例えば全国平均に到達するためには、高

知支部は残り 565 名ほど改善する必要がある。

(学識経験者)

「受診勧奨者の受診率」について、事業所のみへの働きかけでよいのか。例えばご家族の方で、高齢により受診できないといった方へは、別の方法が必要ではないか。

(事務局)

現時点では、一番母数の多い事業主とその従業員に向けての取り組みがメインと考えているが、そこがまだ攻め切れていない。そのなかでも、まずは事業主の理解を進めることが重要であると認識しており、今後とも事業所訪問などによる取り組みを進めていく。

(事業主代表)

健診後の医療機関受診については、事業所から従業員への積極的な勧奨が重要であり、事業所の義務ではないかと思う。今本当に問題になっているのは労働者不足である。社員が体調不良で離職していくと、事業所としても成り立たない部分がある。従業員は大事な宝だと思うので、事業主はしっかりと健診結果を見て、勧奨を完璧に行なっていかなければならないと思う。

(学識経験者)

支部長には今出た意見を参考に、理事長に対しての申し出をお願いしたい。

● 議題2 令和6年度支部事業計画(案)及び支部保険者機能強化予算(案)について

事務局より、令和6年度保険者機能強化アクションプラン(案)および令和6年度支部事業計画(案)について、令和6年度支部保険者機能強化予算(案)について説明。

(学識経験者)

アクションプラン案に記載のある「日々の業務量の多寡や優先度に応じた柔軟で最適な体制による事務処理の徹底」については、事業計画案の「事務処理体制の強化」によって対応しようとするように読める。その具体的な中身をお聞きしたい。

また、「柔軟で最適な体制」を実現するために必要かつ困難であるのは、業務マニュアルの見直しによる「簡素化」ではないかと思う。削ることは勇気がいる

とは思うが、マニュアル等の見直しについて、支部ではどのような検討が行われているのかを確認したい。

(事務局)

「事務処理体制の強化」については、人材育成の強化とシステム刷新を2つの柱として、すでに協会けんぽ全体で取り組みを進めている。人材育成については、職員一人ひとりが担当できる業務を増やす多能化と、同じ業務量に対して処理時間を少なくする生産性向上の2つを目的として、継続的な取り組みを行なっている。また、もう一つの柱であるシステム刷新については、1年前に新たなシステムを導入し、平易な内容の書類については処理を自動で完結させることができるようになった。この2つの取り組みにより、事務処理体制については、以前に比べると一定レベル以上の強化はできていると認識しているが、これを継続することが重要であると考えている。

「業務マニュアルの見直し」については、本部で一括して実施しているところではあるが、いただいたご意見を本部にも伝達したい。

(学識経験者)

支部保険者機能強化予算案のなかの「糖尿病性腎症患者の重症化予防対策」について、その意義、効果についてお聞きしたい。

(事務局)

透析を行うのに、年間1人約500万円の医療費がかかる。透析の手前にある方を、できるだけ長く透析に移行させないことで、本人の身体的負担軽減と保険者の医療費支出抑制を図ることができる。

- 議題3 第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）について
事務局より、第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）について説明。

(学識経験者)

腹囲というのは測定ツールとしては良いと思う。腹囲オーバーが脳梗塞や脳出血に繋がるというリスクの面と、オーバーの原因となる「アルコール」と「歩く」という2つの項目が、高知県は他県に比べると状況が悪いということを伝えていったほうがよい。アルコールの問題が、人手不足を促進させてしまう問題になりかねない。人口減少県としては非常に大きな問題で、アルコール摂取の状況や1日平均歩数のデータ等を県民にお知らせしたほうが良いのではないと思う。

(事務局)

施策をするにあたっては、原因を追究し、例えばアルコールや歩数の問題等をクローズアップして広報等で周知するなどの取り組みを行なっていきたい。

- 特記事項

次回評議会 令和6年3月に開催予定